

第4回日田市新清掃センター建設用地選定委員会 議事録

- 1 開催日時：令和2年9月29日(火) 10時～12時
- 2 開催場所：日田市役所 4階 庁議室
- 3 出席委員：島岡委員（委員長）、井上委員、橋本委員、諫本委員、田辺委員
- 4 会議次第

(1) 開 会

(2) 市民環境部長あいさつ

(3) 議 事

① 応募用地及び周辺の状況確認

② 評価項目、評価基準、配点の設定

③ 建設応募用地の評価

(4) その他

(5) 閉 会

5 議事録

(1) 開 会 (10時00分) (事務局より開会あいさつ)

(2) 市民環境部長あいさつ (江田部長よりあいさつ)

(3) 議 事

① 応募用地及び周辺の状況確認（追加分）

(1) 建設応募用地立地調査図の作成について

◆事務局より資料を用いて説明

◆質疑等

(委 員) 追加資料の説明があったが、評価項目を評価するうえで必要な資料と前回の委員会で委員の皆様から出てきた意見等に対応した資料が混在しているのか。

(事務局) そうです。前回作成中の資料にプラスして、標高に関する資料は、ご意見がありましたので、追加しています。

(委 員) 土地造成図について、例えば資料13ページ、3haの造成計画ができるという図面だと思うが、青い枠で囲った部分が3haと解釈してよいのか。

(事務局) 平地の部分で3haを考えています。ですから、青い部分です。実際の用地買収的には法面があつたりするので、ちょっと広がると思います。あくまでも3haを基準に造成計画図を作成しています。

(委 員) 3ha確保するにもいくつかの造成パターンがある。その中で絞り込んだの

は、造成費用等の基準があったと思うが、補足説明願う。

（事務局）いろんな形を考えました。面積を広げようと構造物を入れるとコストが高くなります。できるだけコストを抑えることを基準として作成しました。土を動かす、切って盛ってという形がベストなので、そういう形で作成しています。

（委員）切土盛土の土量バランスを考えており、今考えられる最善の配置になっている。最善というのはお金で決まっているということで良いか。

（事務局）そうです。

（委員）それではよろしいか。（異議なし）

② 評価項目、評価基準、配点の設定について

◆事務局より資料を用いて説明

◆質疑等

（委員）議事 3 ページの選定評価方法には修正が入ったか。

（事務局）方法自体は変えていません。表現として何も書いていなかったので、「優れている」というような表現をつけました。

（委員）あとは変更なしか。

（事務局）変更なしです。

（委員）これは了承でよいか。重みづけについて、100 点満点をどのように配分するか。重要なところは配分が大きくなっている。最後は◎○△×とあるが、配点の何％に相当するのか。これについては前回から変更がないということで了承されているということになる。

4 ページ以降の変更点について、質問、意見はないか。

よろしいか。これで評価項目、方法、配点等が決まる。（異議なし）

③ 建設応募用地の評価について

◆事務局より資料を用いて説明

◆質疑等（土地利用面）

（委員）評価項目・基準・配点・応募用地の評価から見た場合、個人的には、総合評価の順位は妥当だと考える。

（事務局）最終的には、すべての項目を評価して総合評価としていますが、ここでは土地利用面だけで見た場合の順位と点数を 1 番下に出してみました。最終的に区分ごとの偏りがないかを最後にみるという目的もあります。結果的に、市街地から離れ

ているところで周辺への影響が少なく点数が高くなっており、市街地に近いところは民家とか福祉施設があったりして順位が低くなっています。

（委 員）私も提供された資料を見ながら確認したが妥当な判断をしていると思う。

（委 員）君迫は、断崖絶壁で、造成するにも相当量の土の移動が必要。点数がこんなに高いのか。

（事務局）その点については、別の項目の評価で大きく下がっています。高低差とかアクセス道路の整備費用等も見ているので、そういったところで点数が下がってきます。

（委 員）単純に山奥の方が評価が高くなる。市街地に近い程、使い勝手が良いが、ここでは評価が下がる。他の項目で評価の結果が覆っている。これは良しとする。（異議なし）

◆質疑等（インフラ整備面）

（委 員）アクセス道路の起点は市役所か。

（事務局）パトリア日田です。第3回委員会でパトリア日田に決まりました。

（委 員）インフラ整備面について、意見・質問はないか？

（事務局）アクセス道路を改良する場合、地権者は応募用地の地権者とは異なる。そこにどういう地権者がいるかわからない。改良延長が長いほど事業実施が困難になる。

（委 員）問題なさそうに思う。よろしいか。（異議なし）

◆質疑等（周辺環境面）

（委 員）山田の生活環境保全調査図に、福祉施設がある。もう1つ前のそういうものがあるかどうか、中に入っていなかったか？

（事務局）分けています。次の項目⑮の方に幼稚園、病院等の関連施設ということで1件としています。民家とは分けています。

（委 員）周辺環境面に対し、質問等あるか？

一定距離範囲の300mというのは根拠があるのか。

（事務局）特にありません。平成29年の選定委員会で使用しました。過去には厚生省の基準があったようです。

（事務局）以前は、廃棄物処理施設を作る際に、周辺地域300m範囲の同意書が必要でした。それを基準としたところです。

（委 員）自治会単位ではなくて、300mに入っているかどうか同意書の基準なの

か。

（事務局）そういう基準が昔はありました。

（委員）自然公園地域があった場合は、どういう対処をするのか。

（事務局）届出等を行なえば、出来ないことはないです。

（委員）自然公園地域を破壊するということになるのか。

（事務局）面積等にもよりますが、そういう規模ではないと考えています。

（委員）周辺環境面についても問題なしでよろしいか。（異議なし）

◆質疑等（防災面）

（委員）質問・意見はあるか。

よろしいか。資料もしっかりしていて、細かいところまで説明があったので、委員の皆様も良く理解できたのではないか。（異議なし）

◆質疑等（経済面）

（委員）意見・質問はないか？

④用地の取得費用について、土地を手に入れるための費用の差が結構大きい。変動は土地の価格が要因なのか、買い取ろうとする土地の面積が要因なのか。それとも両方なのか。

（事務局）3ha 確保するにしても、山であれば法面があるため、造成範囲が広くなり、差が出てきます。構造物を作れば土地取得費について安く済むのですが、構造物費用がかかります。その辺の経済比較をしながら作業しました。

（委員）土地の区画はあまり変わらないが、必要最小限の土地面積は立地条件により差が生じるので、その差がここに表れていると考えて良いか。

（事務局）山地では、かなり広く買い取らないといけません。一方、山田は谷になっているので、用地自体は盛土を少しするくらいで済みます。単価は山田は農地なので高いが、面積は小さいのでそれほど高くない。山林と農地では単価が違います。

（委員）複合的に作用していて変動が出ている。

（事務局）造成計画平面図 2ha と 3ha とあるが、それぞれこの図面に基づいた造成費と考えて良いか。

（事務局）基本的にはそうです。

（委員）全体を通していかがか。5つの区分があったが、全体を通して発言があるか。

(委 員) 水が大量に必要でしょう。どこかで評価しているのか。

(事務局) 資料 36 ページ以降に記載しています。

(委 員) 調査が大変じゃなかったか。

(事務局) 電磁探査という調査をしました。まず現地踏査をして、どういう地形なのか岩盤なのか調べました。専門のボーリング業者に委託し、広域的に地下に電気を流して、用水があるかどうか地下調査をしました。地下に空洞があれば可能性があります。ボーリングして調査しないと揚水量は把握できません。

(委 員) 概要を掴んでいるということで良いか。

(事務局) 用水としては確保できます。1 日当たり 100t 出れば良いです。ごみを燃やす量の 1.5 倍くらい必要です。伏木は深くまでボーリングをしないと水が出ないようです。

(委 員) ごみを燃やすのに水が必要。ボイラで排ガスを冷却する必要がある。水の確保が重要。

この評価を実施したのは、地質調査屋さんなのか、事務局なのか。

(事務局) 別に業務委託を出しまして、地質調査屋さんに依頼しました。その中で評価まで実施した報告書を基にここに反映させています。

(委 員) たくさん項目があるが、皆さんの意見は出尽くしたか？

私としてはおかしいところはなかったと思う。

(事務局) 全体的な総合評価について、区分ごとに点数と順位をつけています。それらを総合して順位を出したものが 1 番下に記載しています。

総合的に分析すると山田町が 1 番ですが、トータル的に点数が安定していると感じています。土地利用面については 7 位ですが、点数的には 4 位との差が 0.7 点程度しかありません。総合的に判断するとこのような表になり、バランス的には良いと考えています。

(4) その他

(事務局) 前回委員会で確認しましたが、第 5 回委員会は、10 月 21 日に開催したいと思っています。この評価をもって市長に報告したいと考えています。

(事務局) 委員会は全 5 回を予定しており、前回 3 回目の時に多くの意見をいただきまして、修正しました。また、今回もご意見をいただき、修正して最後に 5 回目で確認していただき、その結果を市長に報告と考えていました。結果的に今日提示したものでほぼこのままとなると、5 回目に審議することが今のところありません。

事務局でチェックして修正があれば、5 回目委員会で示させてもらいます。今回一気に説明させてもらいましたが、ボリュームもかなり大きかったので、委員の皆様も後から気づいた点があれば、言ってもらって修正が必要であれば修正して 5 回目でお示しして、最後の締めのチェックをしてもらって、委員長の方から市長に結果を報告してもらいたいと思います。開始は 10 時で考えていますがよろしいでしょうか？

（委 員）報告はこの集計表に近いものをお渡しするのか？それとも 1 番は山田に決まりましたという報告をするのか、客観的に評価して、1 位がこうでした、2 位がこうでした、あとは市長に判断を委ねると報告するのか？

（委 員）いくつか絞り込んで報告するということか？

（委 員）絞り込んで示すのか、この評価表を報告するのか。

（事務局）9 か所について順位付けしたらこのようになりましたと報告してもらえればと思います。ただ、前回と違うのは、各自治会が手を挙げて来られたので、なんでもうちはダメなのかとなるでしょう。評価については、公正で慎重にやってきており、すべてオープンにしますので、ご確認願います。

（委 員）個人的な意見だが、山田は近くにバイオマスセンターがある。近いところに廃棄物処理施設があると何かの時に役に立つことがあるのでは。そういう意味でも山田がよいのではないかと考えていた。

（委 員）皆さんの印象や感覚に沿った結果が得られたということでよいか。私も現地を見てそういう感じがしたし、妥当かなと感じている。

（委 員）諮問されたので答申書が必要。その確認が必要。それは次回の委員会になるのか。

（事務局）はい。

（事務局）次回 10 月 21 日 10 時から。改めて文章を出します。

（5） 閉会（12 時 00 分）

以上